

親子聖書日課

NO.1851 2024.3/17-23

名前

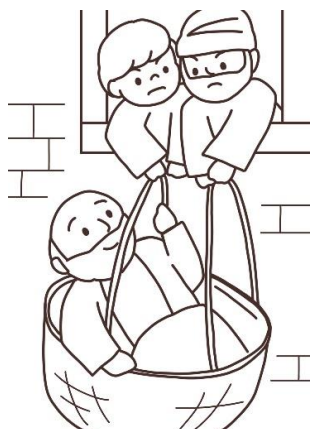
[日]教会が成長するために必要なことは、「自分の家の前を補強」することです。それは身近な所から主を証することです。家族が救われるなら、教会の中で力強い働きができます。補強すべきは、家族伝道です。言葉と行いで、主を証しましょう。

[月]「土くれ」は長い間に積もったものです。信仰生活も長くなると、不信仰という土くれが積もります。「もっこを担ぐ力」は主から与えられますから、困難な時も、片手で神のために働き、片手で不信仰と戦いましょう。主の勝利が与えられます。

[火]自分の利益が失われる時、約束事は簡単に破られます。主に対する約束が、その典型です。しかし、約束を破ることは、利益が得られるどころか、「無一物」になるのです。ですから「お言葉どおりにします」が、一番豊かな生き方なのです。

[水]敵は神の働きを阻止しようと、ネヘミヤの命まで狙いました。しかし、彼は「私は大きな工事をしているので」と、敵の誘いを退けます。私達も教会を建て上げる大工事に召されていますから、誘惑に負けて、信仰生活を中断させてはいけません。

[木]城壁が完成した時、ネヘミヤの仕事は終わりません。一息つく暇もなく、神は彼に名簿を整理させました。これは会堂や牧師館建築で終わらないということです。命の書(天国)に名を連ねる人が沢山起こされるよう、常に伝道の業に励みましょう。



[金]私達の信仰の力の源は、主を喜び祝うことです。主を喜ぶ人は、悲しみや苦しみを乗り越えることができます。主を喜ぶことは、主の恵みに気づくところから生まれます。それは御言葉を聴くことです。すると、主の愛を赦しの大きさが分かります。

[土]旧約の神は、罪人を滅ぼす、怖い神ではありません。民が幾度罪を犯しても、豊かな憐れみをもって救い出して下さる、「罪を赦す神」です。その憐れみを知らずに罪に苦しむ人がいます。「憐れみ深い神」が今も働いていることを伝えましょう。

	聖書	問題	答え
日	ネヘミヤ記 3:16-38	祭司たちはどこの前を補強しましたか。	
月	4:1-17	何の山はまだ大きいですか。	
火	5:1-19	ネヘミヤは何のとおりにしましたか。	
水	6:1-19	私たちの何によってこの工事がなされましたか。	
木	7:1-72	私の心は何を受けて民を集め、家系に従って登録させましたか。	
金	7:72-8:18	主をどうすることこそ、あなたがたの力の源ですか。	
土	9:1-25	あなたの罪をどうする神ですか。	
感想と祈りの課題			